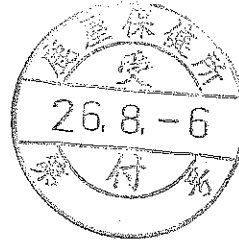


(様式第8)



肝医発第26-16号
平成26年7月24日

鹿児島県知事
伊藤 祐一郎殿

公益社団法人 肝属郡医師会
会長 池田 誠

肝属郡医師会立病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、平成25年度の業務に関して報告します。

記

1 紹介患者への医療提供及び他院への患者報告の実績

地域医療支援病院紹介率	79.8%	算定期間	平成25年4月1日～平成26年3月31日
地域医療支援病院逆紹介率	64.3%		
算定根拠	A: 紹介患者の数	756人	
	B: 救急患者の数	293人	
	C: 初診患者の総数	1,314人	
他の病院又は診療所に紹介した患者の数		846人 (88人)	

(注1)「地域医療支援病院紹介率」欄は、A、Bの和をCで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(注2) 地域医療支援病院紹介率が60%以上80%未満の病院にあっては、承認後2年間で地域医療支援病院紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を併せて提出すること。

(注3) 他の病院又は診療所に紹介した患者数については、括弧内に「A: 紹介患者の数」のうち、他の病院又は診療所に紹介した患者の数を併せて記入すること。

※平成17年8月25日付にて、地域医療支援病院の名称の承認について、医療法第4条第1項の規定により、承認を得ました(紹介率60%以上、逆紹介率30%以上の条件にて)。

3 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	404人
	(124人)
上記以外の救急患者の数	786人
	(100人)
合 計	1,190人
	(224人)

(注)それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

救急用又は患者輸送用自動車	1 台
---------------	-----

(様式第9) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

開放型病院共同指導回数 : 0回
放射線関連共同利用回数 : 335回
検査関連共同利用回数 : 411回
手術関連共同利用回数 : 4回

平成25年度共同利用を行った医療機関の延べ数 : 20 件

医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関 : 20件

病床利用率 : 84.0%

(注) 当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

病院の全ての建物及び設備、器械器具

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用を行ったものを明記すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
藤崎クリニック	藤崎 紀彦	肝属郡錦江町城元96番地6	外・胃・内・肛	
長浜医院	小幡 悦朗	肝属郡錦江町城元895番地12	内・外・耳	
大根占医院	山下 健治	肝属郡錦江町馬場445番地2	脳・外・内・小	肝属郡医師会理事
二川内科胃腸科	二川 俊文	肝属郡錦江町馬場973番地2	内・消・循	肝属郡医師会監事
じょうさいクリニック	笠毛 博	肝属郡南大隅町根占川南3772	内・消・胃・外・整・肛・小・放	
津崎医院	津崎 貴春	肝属郡南大隅町根占川北1725	外・内・麻・整・消・呼	
濃畑クリニック	濃畑 和人	肝属郡錦江町田代川原403	内・整・小	肝属郡医師会副会長
南大隅町立郡へき地出張診療所	上村 英里	肝属郡南大隅町佐多郡1963	内	
南大隅町立大泊へき地出張診療所	上村 英里	肝属郡南大隅町佐多馬籠932番地1	内	
入佐内科	入佐 宗一	鹿屋市吾平町麓348番地1	内・呼・消・循・小	
山内クリニック	山内 慎介	肝属郡肝付町前田863番地1	内・呼・胃・小	
春陽会中央病院	上蘭 春仁	肝属郡肝付町高山町新畜485	整・外・内・皮・児	
徳田脳神経外科病院	諸木 浩一	鹿屋市打馬1丁目11248番地1	脳外・内・神経・小	
たんぼぼクリニック	有村 俊寛	鹿屋市川西町3990番地7	外・消化器・肛門・乳腺	
西原外科クリニック	白浜 浩司	鹿屋市西原1丁目23番地3	外・麻	
伊東クリニック	伊東 博英	鹿屋市札元2丁目3773	内科(人工透析)	
吉川医院	吉川 信寛	肝属郡肝付町前田863番地1	内・胃・呼	
小野医院	小野 一夫	肝属郡肝付町前田863番地2	内科	
吉重クリニック	吉重 幸一	肝属郡肝付町北方581番地1	内・呼・神・消化	

注) 当該医療機関と同一の2次医療圏内に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数

199床

(様式第6) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者氏名	院長 落司孝一
管理担当者氏名	事務次長 黒瀬孝一

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん 手術記録、看護記録、検査所見記録 エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		事務室及び電子カルテサーバ室及び併設介護老人保健施設みなみかぜ倉庫	外来：最終来院月別ID順 入院：退院月別退院順
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療室	
	救急医療の提供の実績	事務室	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	事務室	
	閲覧実績	地域医療室	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療室	

注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第10) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	落司 孝一
閲覧担当者氏名	坂上 陽一
閲覧の求めに応じる場所	地域医療室

前年度の総閲覧件数		5件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	5件

(様式第5)

地域医療従事者の資質向上を図るための研修を
行わせる能力を有することを証する書類

1. 研修の内容

医師：神経内科、呼吸器科、循環器科、放射線科、リハビリ科、消化器科、外科、整形外科、泌尿器科、眼科、内科 看護師：看護教育、看護記録、外来、手術室、病棟、救急外来、内視鏡検査・血管内治療の患者観察の補助、ストーマケア、ターミナルケア 療法士：リハビリテーション一般、リハビリテーションの治療及び疾病予防訓練等の指導 管理栄養士：栄養指導 保健師：生活習慣病予防指導

2. 研修の実績

研修者数	2,622人
------	--------

(注) 前年度の研修生の実数を記入すること

3. 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 有 無
 イ 研修委員会設置の有無 有 無
 ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役職等	臨床経 験年数	特記事項
落司 孝一	医師	泌尿器科	院長	37年	教育責任者
伊比禮 まり子	看護師		看護部長	33年	
山下 智博	薬剤師		薬局長	18年	
川元 竜一	理学療法士		リハビリ室長	18年	
好村 ひとみ	管理栄養士		栄養室長	13年	
桐原 祐成	臨床工学技士		臨床工学室主任	22年	
長濱 さゆり	保健師			14年	

(注) 教育責任者については特記事項欄にその旨記載すること。

4. 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
第1会議室	47.3m ²	プロジェクタ、シャーカステン、ビデオ、図書
カンファレンス ルーム	13.1m ²	シャーカステン
図書室	20.4m ²	テレビ、ビデオ
第2会議室	41.52m ²	スクリーン、衛星放送受信装置、テレビ、スライド映写機
第3会議室	37.28m ²	

4 地域の医療従事者の資質を図るための研修の実績

※括弧内は、他機関からの参加人数

開催日	テーマ	講師名	対象者	主催、企画部門	参加者数
4月12日	褥瘡(診療報酬・デザインRについて)	看護師主任排泄ケア認定看護師原口珠美	新人看護師	教育委員会	43
4月18日	サブライ業務について(看護補助者対象)	中央手術材料室部長宮田和代	新人看護師	教育委員会	21
4月23日	糖尿病(インシュリンの手技について)	地域医療室保健師長濱さゆり	看護師	教育委員会	57
4月25日	サブライ業務について(看護補助者対象)	中央手術材料室部長宮田和代	新人看護師	教育委員会	16
5月2日	認知症サポート養成講座	認知症の人と家族の会代表水流涼子	全職員	教育委員会	99
5月11日	CPR・AED研修(新人・卒後2年目)	南部消防署	新人看護師	教育委員会	10
5月13日	平成25年度在宅医療連携拠点事業の取り組み、認知症ケアの取り組み	地域医療室長坂上陽一、神経内科今隈満医師	全職員	地域医療室	31(16)
5月14日	輸液ポンプ・シリンジポンプ勉強会	臨床工学室主任桐原祐成	看護師	医療安全管理委員会	28
5月16日	輸液ポンプ・シリンジポンプ勉強会	臨床工学室主任桐原祐成	看護師	医療安全管理委員会	31
5月18日	CPR・AED研修	南部消防署	全職員	教育委員会	14
5月24日	循環動態への影響が大きい薬剤の投与	薬剤室長山下智博	看護師	教育委員会	122
5月29日	認知症サポート養成講座	認知症の人と家族の会代表水流涼子	全職員	教育委員会	103
6月7日	山鹿市における認知症地域連携	山鹿中央病院副院長原誠生	全職員、地域の関係機関	地域医療室	54(41)
6月11日	日常生活援助・口腔ケア(看護補助者対象)	介護老人保健施設みなみかぜ歯科衛生士南園里美	看護師、看護助手	教育委員会	17
6月21日	日常生活援助・口腔ケア(看護補助者対象)	介護老人保健施設みなみかぜ歯科衛生士南園里美	看護師、看護助手	教育委員会	16
7月2日	感染対策研修会「感染対策チェックテスト」	医療安全・感染対策室室長楠園美寿子	全職員	感染対策委員会	78
7月10日	感染対策研修会「感染対策チェックテスト」	医療安全・感染対策室室長楠園美寿子	全職員	感染対策委員会	85
7月11日	口腔ケア手技研修会	介護老人保健施設みなみかぜ歯科衛生士南園里美	看護師、看護助手	教育委員会	23
7月12日	ケアマネージャーと関係機関との情報提供の取り扱いについて	居宅介護支援事業所みなみかぜ管理運営生田才子	ケアマネージャー	地域医療室	32(27)
7月12日	感染対策研修会「感染対策チェックテスト」	医療安全・感染対策室室長楠園美寿子	全職員	感染対策委員会	82
7月12日	医療安全勉強会「手指衛生」「PPEについて」	医療安全・感染対策室室長楠園美寿子	看護助手	感染対策委員会	7
7月18日	医療安全勉強会「手指衛生」「PPEについて」	医療安全・感染対策室室長楠園美寿子	看護助手	感染対策委員会	34
7月21日	口腔ケア手技研修会	介護老人保健施設みなみかぜ歯科衛生士南園里美	看護師、看護助手	教育委員会	21
7月26日	末梢輸液ラインナップ	薬剤室長山下智博	全職員	褥瘡対策委員会	38
7月27日	手指衛生・個人防護具について	医療安全・感染対策室室長楠園美寿子	委託業者	褥瘡対策委員会	7
7月30日	糖尿病研修会	地域医療室保健師長濱さゆり	全職員	地域医療室	48
8月23日	褥瘡対策研修会(ポジショニングについて)	外来看護師主任排泄ケア認定看護師原口珠美	看護師、看護助手	教育委員会	41
8月23日	第1回肝属ICT研修会	鹿児島県薬剤会理事原崎大作先生	全職員	肝属薬剤師会	89
8月30日	褥瘡対策研修会(ポジショニングについて)	看護師主任排泄ケア認定看護師原口珠美	看護師、看護助手	教育委員会	44
9月3日	グループワーク(看護補助者研修)	教育担当師長熊の細童子	看護助手	教育委員会	20
9月6日	抗癌剤の取り扱いについて	日本化学株式会社小林高広	全職員	教育委員会	38
9月12日	グループワーク(看護補助者研修)	教育担当師長熊の細童子	看護助手	教育委員会	15
9月13日	フットケア勉強会	地域医療室保健師長濱さゆり	全職員	地域医療室	37
9月24日	認知症初期集中支援チーム設置等促進事業研修会	南大隅町介護福祉課睦地明浩	全職員、地域の関係機関	地域医療室	66(47)
10月8日	認知症研修会(アセスメントツールについて)	心理士今隈希	全職員	地域医療室	68
10月11日	糖尿病研修会(フットケアについて)	地域医療室保健師長濱さゆり	全職員	地域医療室	32
10月15日	認知症研修会(アセスメントツールについて)	心理士今隈希	全職員	地域医療室	59
11月1日	接遇研修会	SZE高橋尚也	全職員	教育委員会	113
11月8日	日常生活援助 ～車椅子移乗について～	リハビリ室作業療法士大王和紀	看護師、看護助手	教育委員会	13
11月12日	日常生活援助 ～車椅子移乗について～	リハビリ室作業療法士大王和紀	看護師、看護助手	教育委員会	20
11月29日	南大隅町佐多地区における在宅医療の現状と課題について	南大隅町立佐多郡・大泊へき地出張診療所長上村英里	全職員、地域の関係機関	地域医療室	59
12月24日	フットケア勉強会	地域医療室保健師長濱さゆり	全職員	地域医療室	24

開催日	テーマ	講師名	対象者	主催、企画部門	参加者数
1月15日	医療安全研修会 5S・KYT	医療安全・感染対策室室長楠園美寿子	全職員	医療安全管理委員会	225
1月16日	医療安全研修会 5S・KYT	医療安全・感染対策室室長楠園美寿子	全職員	医療安全管理委員会	
1月17日	医療安全研修会 5S・KYT	医療安全・感染対策室室長楠園美寿子	全職員	医療安全管理委員会	
1月21日	認知症ケアについて(看護、介護におけるアプローチ手法)	オフィス藤田古城順子	全職員、地域の関係機関	地域医療室	76
1月28日	褥瘡対策研修会 ～高齢者のスキンケアについて～	看護師主任排泄ケア認定看護師原口珠美	全職員、地域の関係機関	褥瘡対策委員会	46(6)
2月12日	口腔ケアマニュアル及び実技研修	中央手術材料室主任森園加奈	全職員、地域の関係機関	教育委員会	30
2月18日	口腔ケアマニュアル及び実技研修	中央手術材料室主任森園加奈	全職員、地域の関係機関	教育委員会	22
2月28日	医療安全看護師研修会「医療機器について」	臨床工学室主任桐原祐成	看護師	医療安全管理委員会	60
3月5日	職場のメンタルヘルスケア～ラインケアについて～	メンタルヘルス対策支援センター中原正子	管理監督職	教育委員会	27
3月14日	認知症ケアについて(看護、介護におけるアプローチ手法)	オフィス藤田古城順子	全職員、地域の関係機関	地域医療室	96
3月14日	濃厚流動食品「ハイネーゲル」とその特徴について	大塚製薬株式会社前之園富久	全職員、地域の関係機関	NST委員会	12
3月18日	薬剤耐性菌の基礎知識	大鵬薬品工業(株)岩田洋平	看護師	教育委員会	51
3月18日	『それゆけ！管理栄養士』在宅訪問栄養食事指導 坂の街、長崎より	長崎市医師会保健センター管理栄養士古川美和	全職員、地域の関係機関	地域医療室	73(52)
3月20日	麻薬レスキューについて	大鵬薬品工業(株)岩田洋平	看護師	教育委員会	49

(様式第11)

委員会の開催の実績

委員会の開催回数	6回
委員会における議論の概要	
平成25年5月20日 ・平成24年度肝属郡医師会立病院事業報告並びに収支決算報告	
平成25年8月20日 ・平成24年度病病・病診連携実績報告(紹介、逆紹介) ・平成24年度開放型共同指導実施状況報告 ・平成24年度医療従事者研修実績報告 ・その他 ① 平成24年度在宅医療連携拠点事業の取り組みについて ② 大隅地域夜間急病センターの現状について	
平成25年9月17日 ・平成25年度肝属郡医師会立病院第1四半期行事経過報告	
平成25年11月18日 ・平成25年度肝属郡医師会立病院第1、第2四半期実績、収支報告	
平成26年2月17日 ・平成25年度肝属郡医師会立病院第3・四半期行事経過報告	
平成26年3月17日 ・平成26年度肝属郡医師会立病院事業計画並びに予算案について	

(注)委員会の開催回数及び議論概要については、前年度のものを記載すること。

(様式第12)

患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談室
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	・坂上 陽一 (社会福祉士、介護支援専門員) ・池之上 寛 (社会福祉主事) ・新原 聡一朗 (社会福祉士、介護支援専門員、精神保健福祉士) ・今村 志帆 (保健師) ・長濱 さゆり (保健師) ・今隈 希 (心理士)
患者相談件数	6, 417 件
患者相談の概要	
患者相談の相談内容及び対策等については、別紙資料を参考下さい	

注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないように配慮すること。

患者相談の概要

相談内容	対策
自宅に寝たきりの妻を介護してありますが、何らかの手当制度はありませんか。	特別障害者手当制度、居住地である行政機関の介護手当制度があることを伝え、申請相談をするように伝えた。
自宅介護してありますが、オムツ代が一月数万円かかります。何か制度はありませんか。	居住地である行政機関事業の紙おむつ券があることを伝え、申請するように助言した。
介護保険施設に入所していますが、入所費用が高額な状況にあります。何らかの減額制度はありませんか。	入所費用については、償還制度があること、また、食事代については、減額措置があることを伝えた。
鼻腔経管栄養、インスリン注射が必要ですが、家で管理が難しく、長期に入院できます病院はありますか。	地域の療養型病院を紹介し、転院することとなった。
自宅にて、胃瘻を管理することとなった。先生や看護師さんが訪問することは可能ですか。	地域の医療機関にて、訪問診療、訪問看護導入が可能となり、自宅退院調整を行った。
透析導入になると話が合った。主治医より、身体障害者手帳の申請をするように話があった。どのようによいのですか。	居住地である行政機関(福祉係)へ申請するように、助言した。
透析治療をしているが、自宅にて腎不全食の作り方がわからない。	介護者に対して、栄養士より、栄養指導を実施していただくように相談した。
透析だが、腎不全食の作り方が不明である。宅配等のサービスはありませんか。	居住地である行政機関(福祉係)へ宅配給食の申請を行うように助言し、介護保険申請にて、訪問介護利用により、家事援助が可能であることも併せて伝えた。
身体的な障害は軽度だが、日常生活について、不安がある。どこか施設はありませんか。	若年者で単純な作業は可能だったため、身体障害者厚生援護施設へ入所申請を行うように、助言した。
下肢障害にて身障1級を受給している。今後車を改造し、自分で運転できるようにしたい。行政の援助等ありますか。	自動車改造費の助成、自動車免許センターにて適正検査を受けるように助言した。
身体障害者手帳を受給していますが、外来受診時の交通手段はバスを利用しております。助成制度がありますか。	身体障害者手帳にて5割引になることを伝える。
身体障害者手帳2級を受給中ですが、疲が出やすく、自宅でも吸引ネブライザーが必要と主治医の先生から言われました。助成制度は何かありませんか。	吸引器の助成が呼吸機能障害者と同程度の状態であれば、支給可能な場合があるので、居住地の行政機関(福祉課)を訪ねるように助言した。
知的障害者の施設に入所しておりますが、本人は高齢であり今後は老人福祉施設への入所を検討しております。	介護保険申請を行うように依頼した。
身体障害者手帳3級を受給しております。今回脳梗塞にて片麻痺になりました、身体障害者手帳の級は上がりませんか。	主治医へ相談した所、2級は該当するのではないかとのことなので、居住地の行政機関(福祉課)へ再申請をするように助言した。

患者相談の概要

相談内容	対策
外来の通院費が高くなってきている。今後の支払が不安です。	居住地である行政機関へ高額医療費の相談をするように助言した。
生活保護を受けている。今後施設入所を考えています。支払いはどのようになりますか。	管轄福祉事務所へ相談するように助言した。
以前生活保護を受給していた。今後再度認定を受けたいと考えているが、どのような方法を取ればよいですか。	居住地である行政機関(福祉課)へ申請相談を行うように助言した。
生活保護を受給している。自宅入り口を改修したいが、支援策は何かありますか。	介護扶助にて対応可能であることを伝え、管轄福祉事務所へ相談するように助言した。
特定疾患の対象になると先生から言われた。どのような申請をとるのでしょうか。	管轄保健所へ関係書類を患者様宅へ送付して頂くように依頼をした。
特定疾患を受給してませんが、指定医療機関の追加を行いたい。どのような方法を取ればよいか。	管轄保健所へ保険証を持参し、追加して頂くように依頼をした。
特定疾患を受給しているが、先生より重症認定に該当すると言われた。どのような方法を取ればよいですか。	管轄保健所へ重症認定に関する書類を患者様宅へ送付して頂くように依頼し、病院受付へ提出するように助言した。
特定疾患の重症認定とは、どのようなものですか。	支払う医療費の額が公費負担となります。
特定発性間質性肺炎と診断されました。何か公的な支援はありますか。	特定疾患の対象病名のため、管轄保健所へ申請を行うように説明を行った。
特定疾患を受給してませんが、相談したいことがあるのですが、どこにすればよいのですか。	管轄保健所にて、難病相談窓口を実施しており、保健師による訪問指導、専門スタッフによる、相談会があることを説明した。
以前入院していた時期のカルテを複写にて頂きたい。	診療録開示申請を行い、許可されたため、診療録の複写を提供した。
在宅酸素を自宅で使用しておりますが一月の外来治療費が高い。何か助成制度はありませんか。	身体障害者手帳1級を受給していた為、医療費助成が可能であることを伝え、役場を訪ねるよう助言した。
毎日付き添いが必要と依頼されました。私は県外在在の為対応できません。付き添いさんをどこかお願いできませんか。	鹿屋市内に付き添い事業を実施している団体あるため、事業所の紹介を行った。
入院中の洗濯物をお願いしたい。どこかお願いできませんか。	有料事業にて、洗濯物の洗濯等対応していただける事業所を紹介した。
入院中の食事代について、何らかの制度はないのですか。	減額認定保険制度の説明を行った。居住地である行政機関を訪ねるように助言した。

患者相談の概要

相談内容	対策
<p>後ペースメーカー植込みが必要と話がありました。今後の治療費が心配です。</p>	<p>身体障害者手帳1級に相当するので、植え込み後は重度心身医療費助成制度を申請するように助言した。</p>
<p>身体障害者手帳を受給しておりますが、NHK放送受信料の減免は可能ですか。</p>	<p>居住地である行政機関(福祉課)にて、申請するように助言した。</p>
<p>身体障害者手帳受給しており、高速道路利用を考えております。減免対象でしょうか。</p>	<p>身体障害者手帳にて、5割引になることを助言した。</p>
<p>癌治療をしており、自宅にて介護状態が続いています。何らかの制限度はありませんか。</p>	<p>高額医療費、障害年金申請による経済的な援助があることを助言し、行政機関にて再度相談するように伝えた。</p>
<p>今回癌にて、ストーマとなり、今後ラパック購入をしていかなければならない。助成制度はありますか。</p>	<p>身体障害者手帳の申請を行い、ラパックを現物給付可能であることを助言した。居住地である、行政機関(福祉課)へ申請を行うように依頼した。</p>
<p>今回人工関節置換術を行いました。身体障害者手帳の申請は可能ですか。</p>	<p>身体障害者手帳の申請が可能なため、居住地である行政機関(障害者係)へ申請するように助言した。</p>
<p>身体障害者手帳を紛失してしまいました。どのようにすればよいですか。</p>	<p>居住地である行政機関へ相談するように助言した。</p>
<p>自宅にて在宅酸素を使用しておりますが、機械の説明を受けたい。</p>	<p>導入業者と連絡を取り、説明を行うように依頼した。</p>
<p>アルコール依存症にて病院へ通院中です。家族としては、しばらく入院加療をお願いしたいのですが。</p>	<p>アルコール依存症の病院を家族へ紹介し、主治医へ紹介状を作成頂くように依頼した。</p>
<p>脳梗塞にて入院しておりますが主治医からもうしばらくしたら退院が可能との話がありました。家族としてはもうしばらくリハビリを希望しておりますが。</p>	<p>介護保険にて要介護1を受給中のため、介護保険老人保健施設を又市内に療養型病院があることを伝えた。</p>
<p>在宅酸素を使用しているが、自宅でもパルスオキシメーターを利用したい。どのようにすればよいですか。</p>	<p>主治医へ必要性について確認したところ、自宅にてパルスオキシメーターを使用しても構わないとのことだった為、利用者へパルスオキシメーターの依頼があったことを伝え、レンタル又は購入にて対応して頂くように依頼した。</p>
<p>在宅酸素を使用しており、近々飛行機にて旅行を考えている。どのようにすればよいのか。</p>	<p>航空会社指定の書類を取り寄せること、利用者者と話し合いを行うことを助言した。</p>
<p>癌治療をしています。一月の医療費が数十万かかります。何か制限はありませんか。</p>	<p>居住地である行政機関へ高額医療制度の申請を行うように助言した。</p>
<p>癌治療をしているが、年金制度にて対応可能ですか。</p>	<p>居住地である行政機関へ障害年金申請を行うように説明した。</p>

患者相談の概要

相談内容	対策
現在入院しておりますが、自宅にて往診をお願いしたい。どのようなすれば、よいでしょうか。	町内の医療機関へ相談し、往診対応が可能であることを、伝えました。
検診にて、採血異常を指摘された。どのようにすれば、よいでしょうか。	採血項目の異常値を確認し、外来看護師へ診察予約をしていただくように依頼し、患者様へ説明した。
リハビリ室にて、ボランティアを行いたい。どのようにすれば、よいでしょうか。	リハビリ室へ確認し、見学実習を引き受けることとなり、依頼者へ説明した。
数年前に入院し、手術をした、血液製剤等またはフイブリノゲンを使用したのか、確認できませんか。C型肝炎の問題があり、心配です。	診療録を確認したところ、製剤使用はなく、本人へ投与無しとの連絡を実施した。
要支援の認定を受けています。デイサービスで入浴をしたいのですが、どのようにしたらよいですか。	居住地の行政機関地域包括支援センターへ介護支援専門員がいることを伝え、デイサービス利用にあたり相談する旨を助言した。
現在鹿屋市内の療養型病院へ入院しております。住まいが南大隅町であり、地元医師会病院への入院をしたいのですが、相談できませんか。	当院療養病棟判定会議へ報告し、入院は可能となり、相談者、先方の病院へ入院可能な旨連絡を実施した。
自宅でALSの患者を往診対応している。最近、熱、血圧等のバイタルが不安定であり、医師会病院への入院対応をお願いしたい。	当院神経内科医へ相談し、入院許可あり、かかりつけ医へ入院可能な旨の連絡を実施した。
グループホームへ入所しているが、食事をあまり取らず、栄養状態も良くない患者がいる。内科の先生へ相談して頂き、入院対応を図って頂けないでしょうか。	当院内科医へ相談したところ、入院可能とのことで、先方へ入院可能な連絡を実施した。
パーキンソン病を患っていますが、療養病棟へ入院することはできますか。	当院の療養病棟判定会議へ報告し、入院待機になることを説明した。
自宅で母を介護していますが、時折血圧が上昇し、その都度かかりつけ医の先生へ相談して頂きます。看護師さんを利用できることはどうでしょうか。	要介護認定を受けていたため、地元の訪問看護事業所の紹介をし、事業所より自宅を訪問することとなった。
現在鹿屋市内の病院に入院しています。退院後近くの病院へ通院したいのですが、どのような病院があるのか教えていただきたい。	患者様が住む住所に近い隣の医療機関を照会し、退院してから事前に電話連絡をし、紹介状を持参するよう助言した。
南大隅町佐多の大泊で暮らしているが、なかなか病院への通院が難しくなっております。先生に自宅まで来ていただきたい。	南大隅町で開業されている2箇所の医療機関を紹介した。
小児癌を患ったが、自宅で訪問看護を利用したい。どのような手続きをとったらよいでしょうか。	錦江町、南大隅町にある訪問看護ステーションを紹介した。また医療保険で訪問看護利用が出来る旨を伝えた。

患者相談の概要

相談内容	対策
<p>現在、要介護認定が要支援です。骨折をして入院しましたが、独居なのでどこか施設に入りたいのですが。</p>	<p>施設入所には要介護度1以上の判定が必要であることと説明協議し、援助を行っていく。</p>
<p>福祉サービスを利用したいのですが。</p>	<p>介護保険の確認。未申請のため役場へ介護保険を申請しに行き準備を行っていく。</p>
<p>退院後、住所変更をして主介護者が変わる。退院までには住宅改修を終わらせたい。</p>	<p>申請のため介護保険申請を行う。保険者が変わるため役場へ確認を行う。判定後転入先の地域の居宅へ依頼し、早急な住宅改修を進める。伴い、家屋調査を行い情報提供を行っていく。</p>
<p>今までサービス利用はありませんでした。私一人で介護していましたが、もう限界です。どうしたらいいですか。</p>	<p>介護保険・サービスの説明。今までの介護負担軽減が可能であることを説明、理解を促す。申請・居宅選定を調整して介護への不安軽減を図る。</p>
<p>一人暮らしで退院後、心配なので相談にきました。</p>	<p>本人の状態確認。介護保険説明。申請を行い、施設入所の説明まで行う。在宅サービス強化し入所待ちにて退院となった。</p>
<p>介護保険サービスを受けるにはどうしたらいいですか。</p>	<p>役場へ申請・居宅届けの確認を実施。認定は「要支援2」であるが居宅がなかったため、包括支援センターを紹介。病院より包括支援センターへ情報提供をおこなう。</p>
<p>老健へ入所させたいのですが。</p>	<p>要介護2である事を確認。当面調整を行って入所の診断書作成をDRへ依頼。施設相談員と面談調整を行い、判定会議へかけ入所となった。</p>
<p>自宅へ帰ったら車椅子を使いたい</p>	<p>要支援2の認定であり、レンタルは難しい可能性があると説明。在宅退院の社会福祉協議会へ相談しためにレンタルに在宅での車椅子の実用性を確かめてもらう。</p>
<p>施設入所者の退院が決まったため退院調整をお願いしたい</p>	<p>施設へ連絡を行ったところ、入退院が多いため退所になったことを知る。居宅へ連絡しショートステイでの受け入れ調整を依頼し退院となった。</p>
<p>寝たきりの母を自宅で介護していくのに不安があります。どうしたらいいですか。</p>	<p>介護保険の確認を行ったところ、未申請だったため、介護保険の説明・申請を行った。在宅サービスでの介護負担軽減の説明。また、看護師へ介護指導の依頼を行い、不安軽減を行なった。</p>
<p>骨折して入院したが、痛み強く退院したくありません。</p>	<p>精神的な不安が強く、退院出来ない状態であると判断し、家庭調査を行い、住環境整備を実施。外泊・外出を行い、不安軽減を図る。本人の納得を持って退院となった。</p>

患者相談の概要

相談内容	対策
<p>自宅の造りが古く、退院後の生活で大きな段差やトイレや入浴の時など転倒などの危険もあり不安である。</p>	<p>介護保険の説明申請を行い、在宅サービスの調整を担って調整した。</p>
<p>退院後入院前に不安がある。</p>	<p>介護保険制度に福祉用具の貸与・給付があることを説明、在宅サービスの説明を実施していく。</p>
<p>麻痺が残こり、介護負担も増えた。退院後どのようなにしたいか。</p>	<p>介護保険の説明を行い、居宅支援事業所を決めて申請を行う。ケアマネジャーと一緒に希望サービスと必要であるサービスを検討し実施する。</p>
<p>入院前に申請をしたのだが、判定などわからず前にも入院となつてしまい、介護保険が使えないかどうかわかりません。</p>	<p>介護保険係に連絡をとり、前回の判定と期限を聞く。居宅更新申請を行う。</p>
<p>夫は労災を受けているが、退院後、介護保険を利用することができそうか。</p>	<p>労災の担当者に連絡をとり確認する。また、その人の職場の労災保険の希望と労働災害保険と介護保険の兼ね合いを確認する。可能とすることでサービス調整していく。</p>
<p>退院後は自宅で見ていきたいが、もう少しリハビリを継続させたいのですが。</p>	<p>介護認定が要介護度1だったため、老人保健施設にリハビリがあり、中間施設であることを説明、3ヶ月ほどの入所を計画し調整をおこなった。</p>
<p>一人で暮らすのが難しく見えません。歩行も杖歩行です。退院後に、脳梗塞後遺症で麻痺が残っています。このまま退院ではなくもつとリハビリをして少しでもよくなって帰りたいと家族からの希望がありました。</p>	<p>介護保険の在宅サービスを調整し、親族のサポートもお願いし、在宅援助を進めていく。リスクが高いため施設もバツクアアップした。</p>
<p>退院後は在宅でみる事ができません。どこか施設にはいいないでしょうか。</p>	<p>主治医の先生へ家族の意向を説明したところ、亜急性期病棟でのリハビリを継続するとの指示有り、その旨を家族へ説明した。</p>
<p>入院前に調査員が来て調査してもらったところ判定が介護度1から要支援に落ちました。入院してさらに麻痺等が強くなったのにサービス量が減ってしまおうと在宅での介護が大変です。どうにかありませんか。</p>	<p>老人ホームへの入所の申し込みを家族に勧めめる。また、ケアマネジャーに併設している老健施設に依頼する。介護保険の介護度が付いているかの確認・要支援の場合状態が変化しているか確認し、調整を行う。退院1ヶ月入院前に調査しており今と状態が変化している。担当ケアマネジャーに連絡をとり確認をし、調整にはいる。退院1ヶ月前を区に分変更申請を行う方向で家族に説明を行う。</p>
<p>退院後、在宅を考えているが、今回、麻痺等残り、家も古いため介護していくにあたり、不安が大きいです。</p>	<p>介護保険サービスの説明。家屋調査を実施し、確認し住宅改修も調整していく。</p>

患者相談の概要

相談内容	対策
介護保険未申請です。退院後の事で在宅での介護ができません。できれば施設を探してもらいたいです。	施設入所には要介護度1以上の判定が必要であることを説明申請を行い、判定を待つ。施設入所がすぐは困難なことがあることを説明し、在宅での介護を説得した。
地域に関係なくどこか施設に入所させたいのですが。	各方面の施設へ電話連絡し、空き状況を確認、家族へ直接行ってもらう、入所申請の助言をした。
住宅改修をしたのですがお金はいくらぐらいかかりますか。	介護保険制度についての説明を行い、住宅改修がサービスに含まれていることを説明。申請等の検討、実施を行う。
在宅では介護負担が大きいため家では看れません。	在宅介護支援事業所を紹介する。そこで、在宅介護か施設を慎重に話し合い調整をしていく。
入院となり麻痺が残っています。入院前は自立していたのですが、車椅子レベルになりました。在宅介護に強く不安が残ります。どうしたらよいか。	介護保険の説明・申請を行う。介護負担軽減と家族のイメージについている介護への不安を和らげ、援助していく。
以前介護保険で住宅改修を行ったのですが状態は悪くなりまた必要になったのでしたいのだが、改修してもらえないのですか。	以前の判定から今の判定が3段階変化していれば住宅改修のサービスを受ける事ができると説明した。
介護保険と言われてもどのようなサービスがあるのかよく分からないうのですが。	大きく分けて「在宅サービス」と「施設サービス」とに分かれます。詳しくはケアマネジャー等から説明があると思います。在宅介護支援センターを紹介した。
施設入所を希望しています。要介護度4ですし、退院後在宅では看る事が出来ません。	施設入所申し込みを行い、待ちであればショートステイやデイサービスを活用していき、老健施設なども検討していく。
住宅改修をしたいと思っています。町でのサービスや助成などはないですか。	住宅改修は介護保険のサービスに含まれています。申請を行い判定を待つからがいいと思います。
浴室は五右衛門風呂で片麻痺があるので入浴が困難です。住宅改修をしたほうがいいですか。	住宅改修もできます。入浴に関しては介護負担軽減になります。申請を待つからいいと思います。
脳梗塞後遺症で車椅子移動です。自宅には車椅子がないので購入したいのですが。	介護保険サービスに福祉用具レンタルのサービスがあります。その中に車椅子も含まれますので借りたらいと思います。1割負担で安く借りれますよ。
夫の介護が大変で、夫も精神的にまいっています。早く退院をしたいのですが。	夫の要介護度と居宅を確認する。本人は介護保険の対象にしなければならないので夫のケアプランをケアマネジャーに再度検討し、本人の介護負担軽減を行う。退院に向けて速やかに援助した。